



山梨県富士吉田市
新倉山浅間公園（下吉田駅）

2017年11月1日
日本政府観光局（JNTO）
理事 山崎 道徳

目次

- 1. JNTOの概要および本事業について**
- 2. 観光立国の実現にむけて**
- 3. 訪日インバウンドの動向**
- 4. 地域に訪日インバウンド客を誘致するために**

1. JNTOの概要および本事業について

日本政府観光局（JNTO）の概要

Vision : 私たちが目指すこと

私たちは、日本のインバウンド旅行市場を拡大する政府観光局として、**国民経済の発展、地域の活性化、国際的な相互理解の促進、日本のブランド力向上**を実現することにより、未来の日本をより豊かに、元気に、明るくすることを目指します。

組織概要

- **正式名称**：独立行政法人 国際観光振興機構（国土交通省 観光庁所管）
 ※通称として「日本政府観光局」、略称として「JNTO」
 （英文名称:Japan National Tourism Organization）を使用

JNTOの活動

JNTOは世界20都市に海外事務所を持ち、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーション、マーケティングを行っている。



日本政府観光局（JNTO）の概要

組織拠点

- 国内拠点：本部（東京）
- 海外拠点：20事務所
(ソウル、北京、上海、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、モスクワ、クアラルンプール、ハノイ、デリー、ローマ、マドリード)
※マニラは新規開設予定



国内での取り組みの強化

『地域プロモーション連携室』の設置（2017年9月新設）

◎地域と共に、訪日インバウンドにおけるプロモーション活動を促進！

- ・ 地方ブロックの専任職員が専用連絡窓口として、各地域の観光事業者と緊密に連携。

- ▽北海道、東北、関東 地域担当
- ▽北陸、信越、中部 地域担当
- ▽近畿、中国、四国 地域担当
- ▽九州、沖縄 地域担当

- ・ 訪日インバウンドへの取り組み事例を発信するため、地域インバウンド促進サイト「日本の魅力を、日本のチカラに。」をスタート。

- ・ 地域の訪日インバウンドプロモーションを共に考えるため、インバウンドワークショップ・ビジネスセミナーの開催。



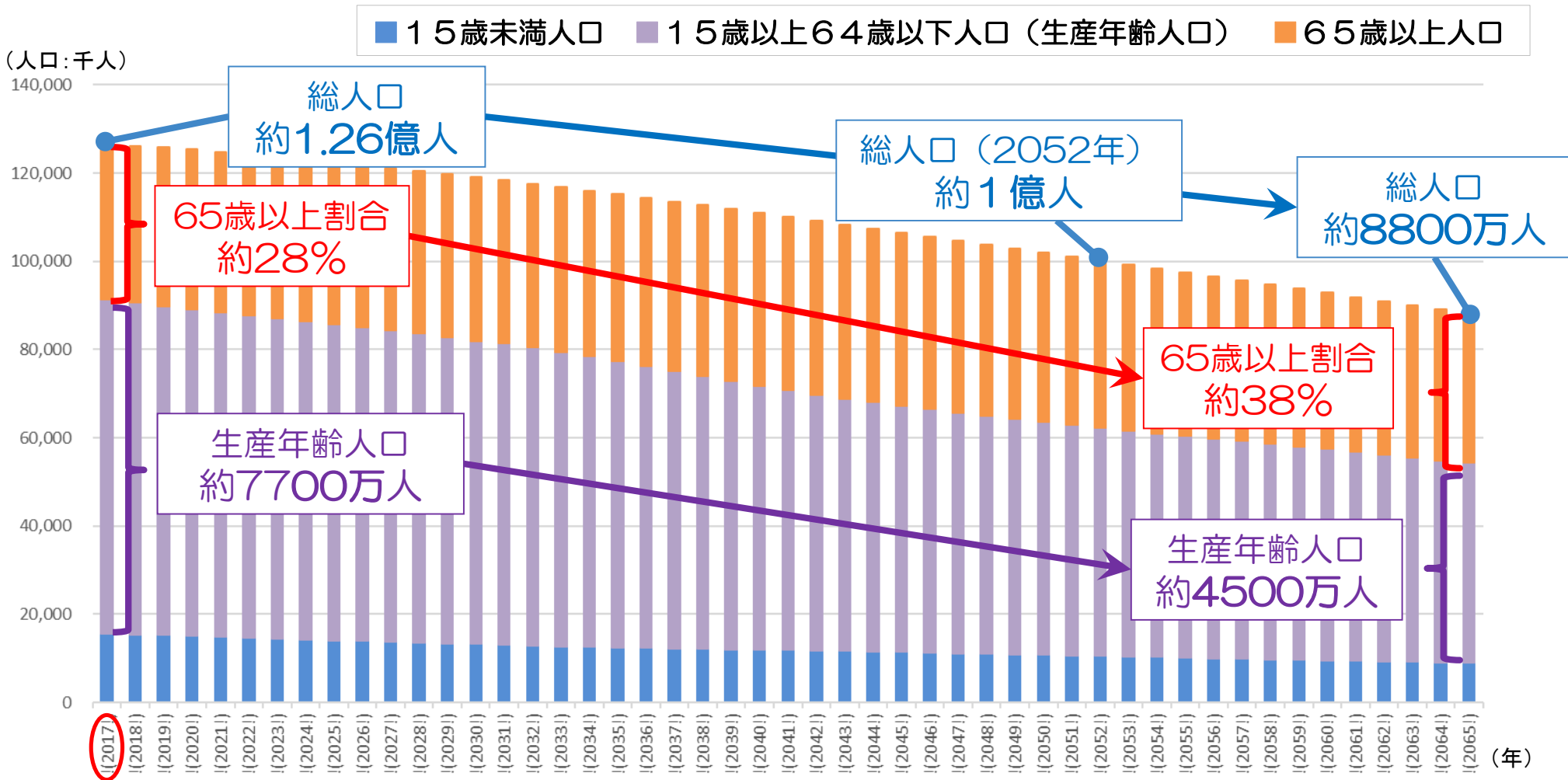
「日本の魅力を、日本のチカラに。」

WEBサイトイメージ

2. 観光立国の実現にむけて

人口減少・少子高齢化社会の到来

- ・今後、人口減少が進み、2052年には1億人程度となる見通し。
- ・少子高齢化が急速に進行し、**2065年には総人口の約38%が65歳以上**になる見通し。



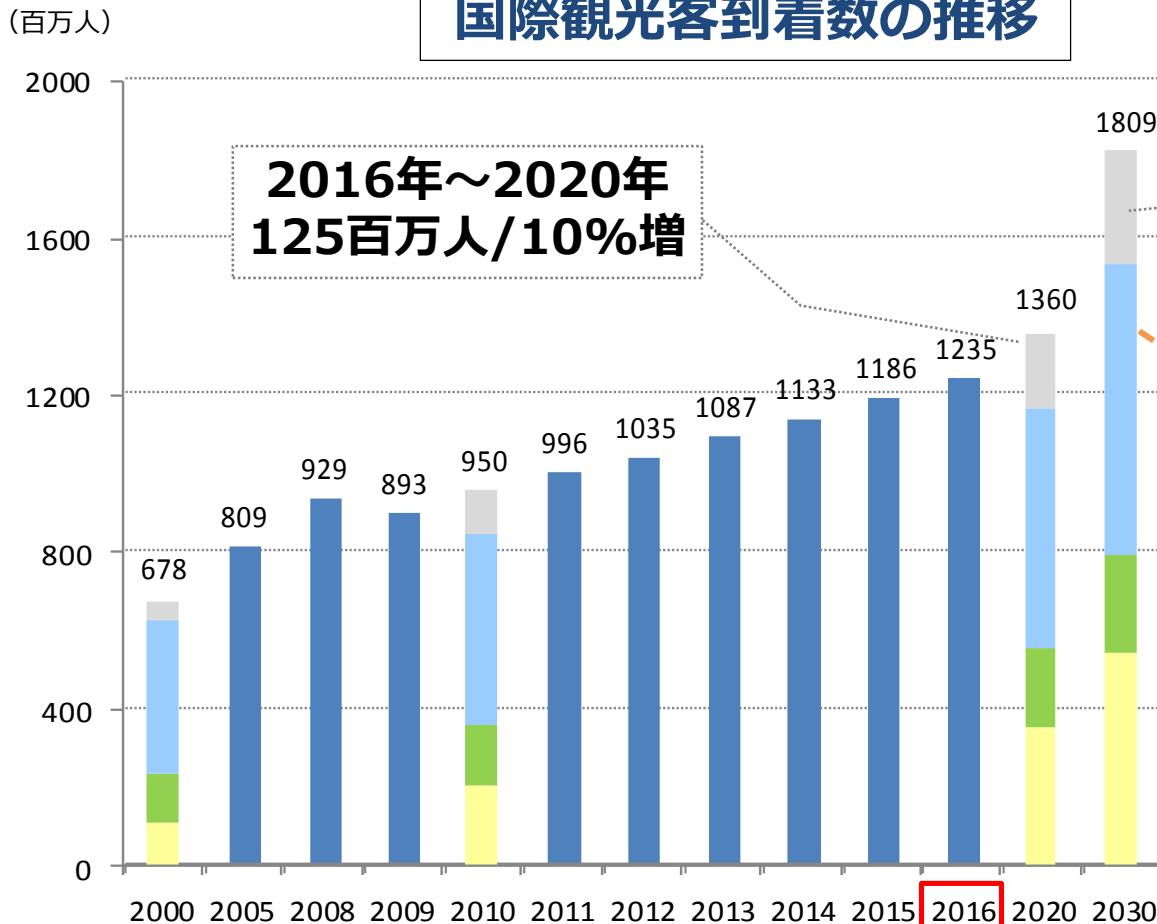
(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29年・中位推計))

世界の観光動向：国際観光客数は着実に拡大

拡大を続ける世界旅行市場 (出典：UNWTO(国連世界観光機関))

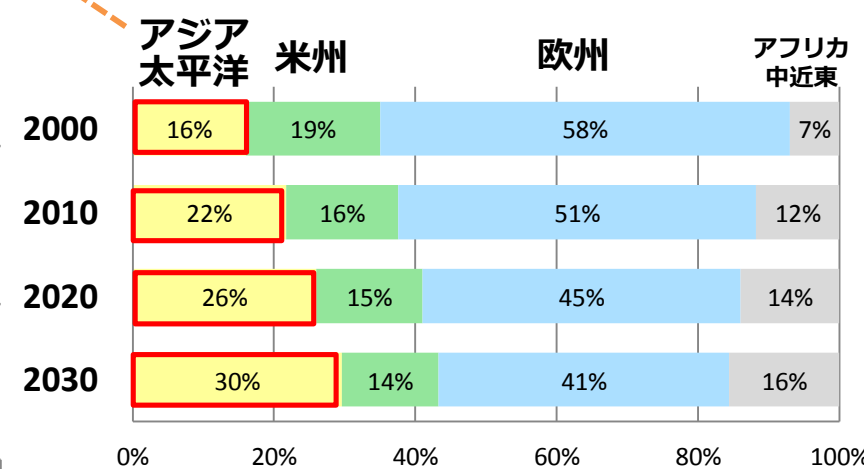
• 2016年の国際観光客到着数は**12億3500万人 (+3.9%)**

国際観光客到着数の推移



2020年～2030年
449百万人/33.0%増

地域別シェア：アジア市場拡大の推移



世界の観光：主な指数 (出典：UNWTO)

**全世界の
GDPの10%**
(日本：GDPの7.4%)

**10人に1人を
雇用**
(日本：14.5人に1人)

**全世界の
輸出額の7%**
(日本：輸出額の4.4%)
**観光輸出額は
1.4兆ドル**
(日本：324億ドル)



※上記はいずれも直接寄与と間接寄与の合計。

観光立国の意義

1. 国際観光の推進はわが国のソフトパワーを強化するもの ⇒ **外交を補完**
2. 観光は少子高齢化時代の経済活性化の切り札 ⇒ **高い経済効果**
3. 交流人口の拡大による地域の活性化 ⇒ **雇用創出・地方創生の切り札**
4. 観光立国により国民が誇りと自信を取り戻す ⇒ **国の価値の再認識**



～ 観光交流人口の拡大による日本の再生 ～

我が国が目指す数値目標

訪日外国人旅行者数

2020年：4,000万人 2030年：6,000万人

訪日外国人旅行消費額

2020年：8兆円 2030年：15兆円

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年：7,000万人泊 2030年：1億3,000万人泊

外国人リピーター数

2020年：2,400万人 2030年：3,600万人

日本人国内旅行消費額

2020年：21兆円 2030年：22兆円

「観光先進国」への3つの視点

視点1

観光資源の魅力を
極め、地方創生に活用

視点2

観光産業を革新し、
我が国の基幹産業に

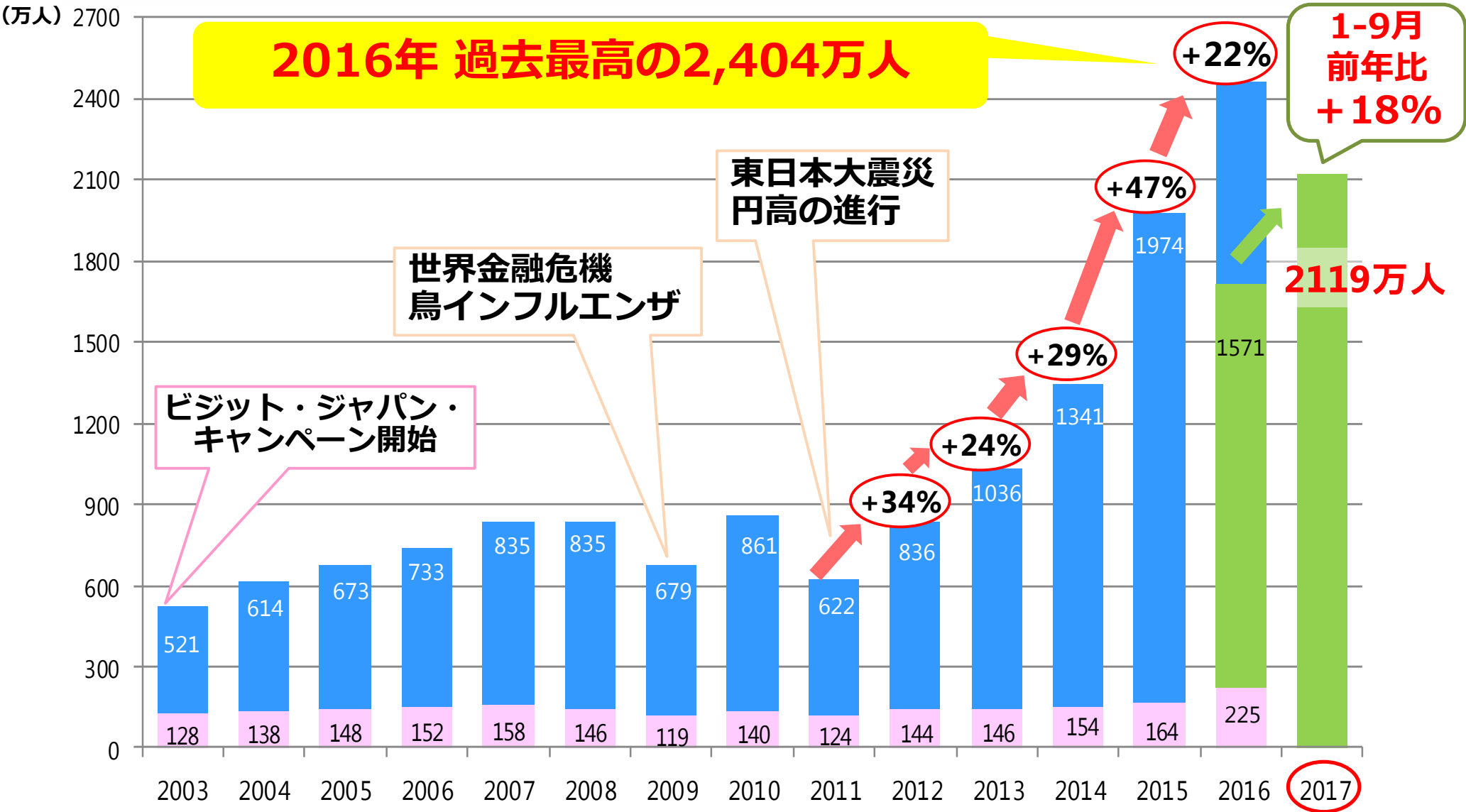
視点3

旅行者が快適に観光を
満喫できる環境に

(『明日の日本を支える観光ビジョン』(平成28年3月30日策定)より)

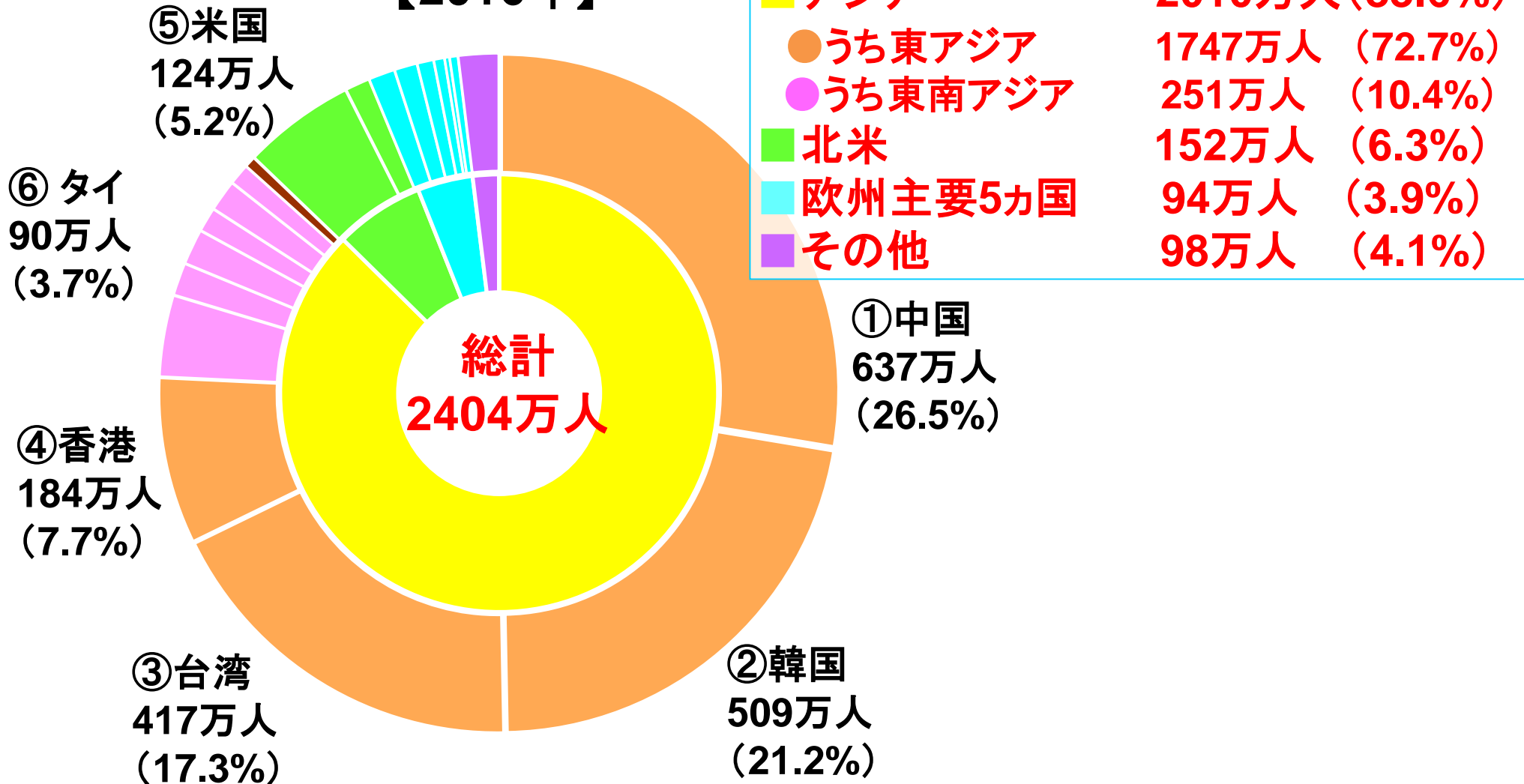
3.訪日インバウンドの動向

訪日外客数の推移



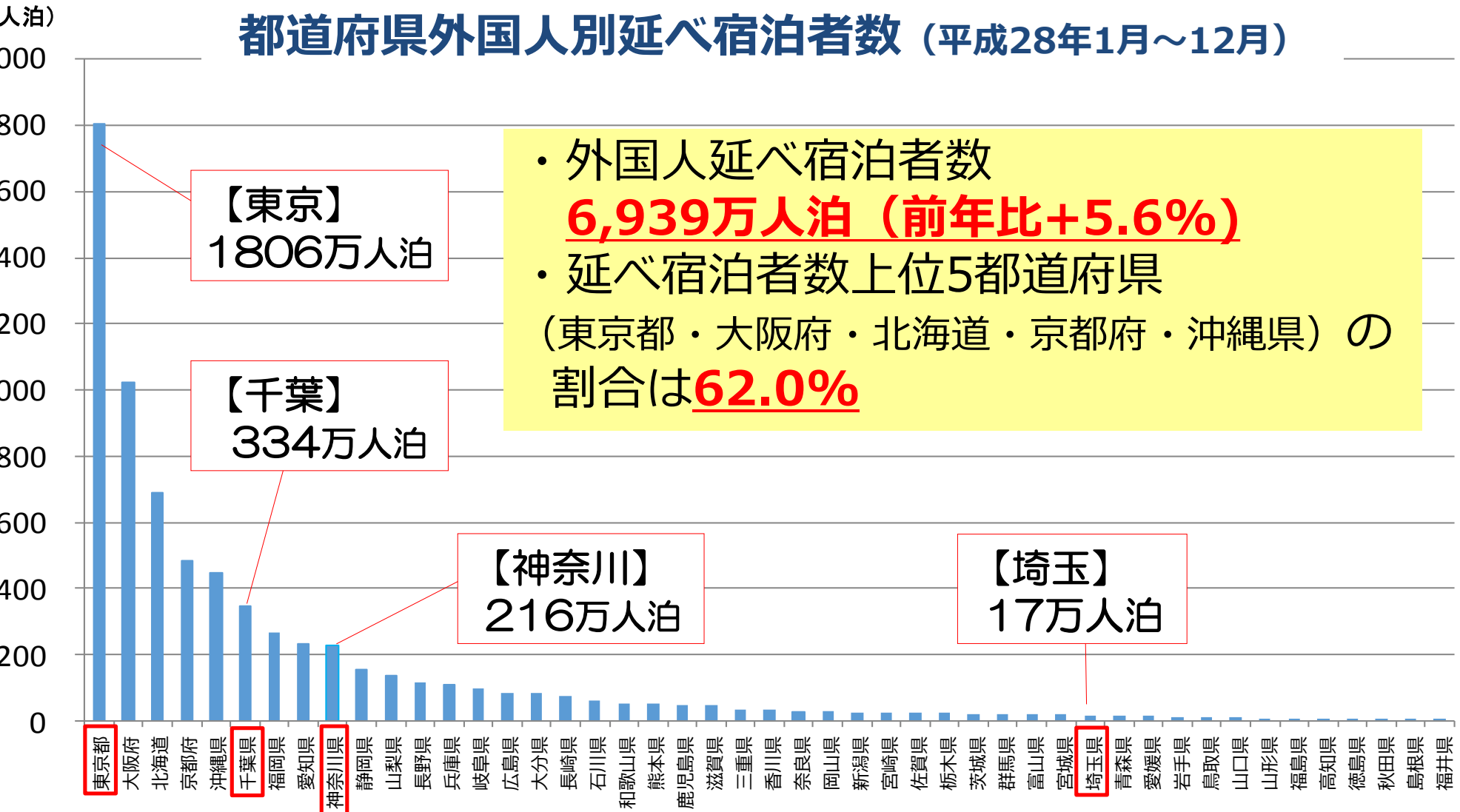
訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

【2016年】



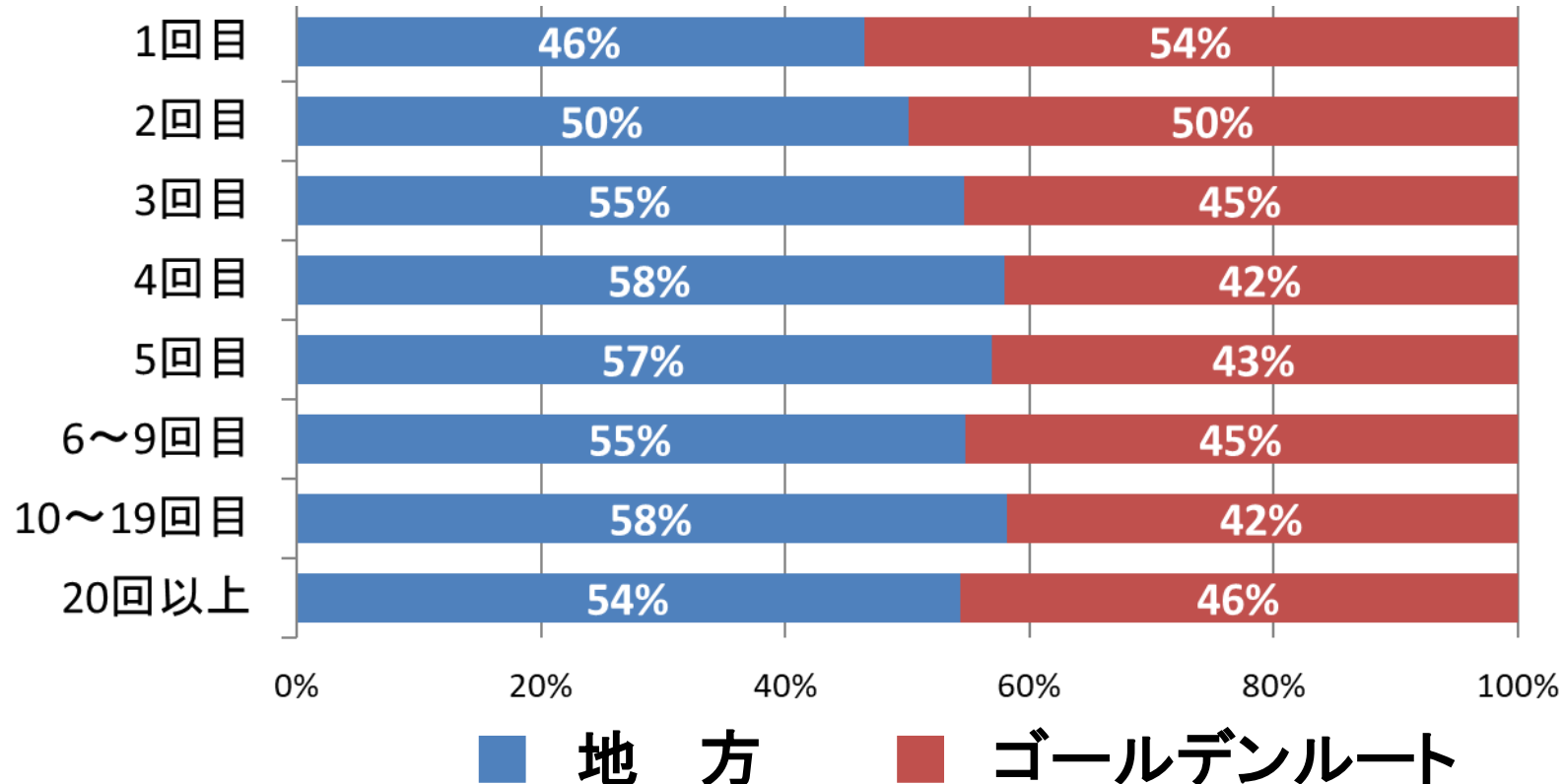
訪日外国人旅行者の宿泊状況（都道府県別）

都道府県外国人別延べ宿泊者数（平成28年1月～12月）



地方への訪日外国人の来訪状況

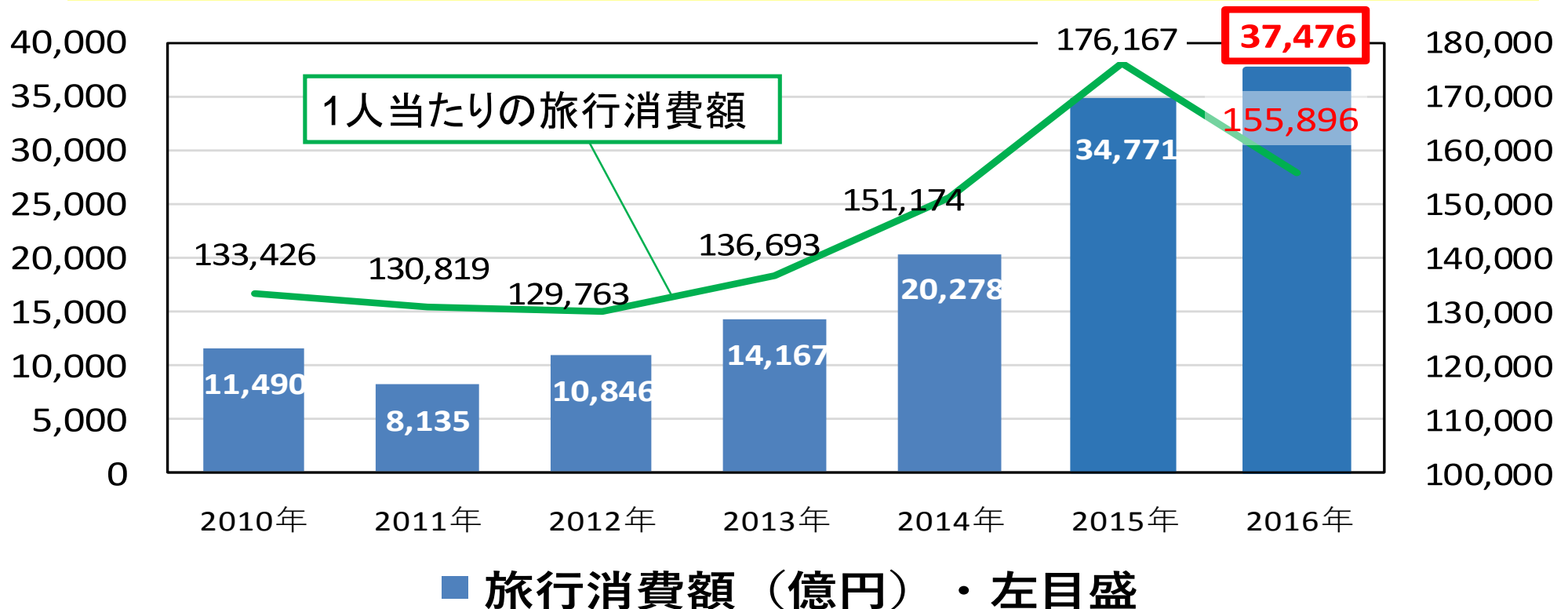
- ・初めての訪日でも、5割近くが地方を訪問
- ・**リピート回数が増えると、ゴールデンルート以外の訪問率がさらに上昇！**



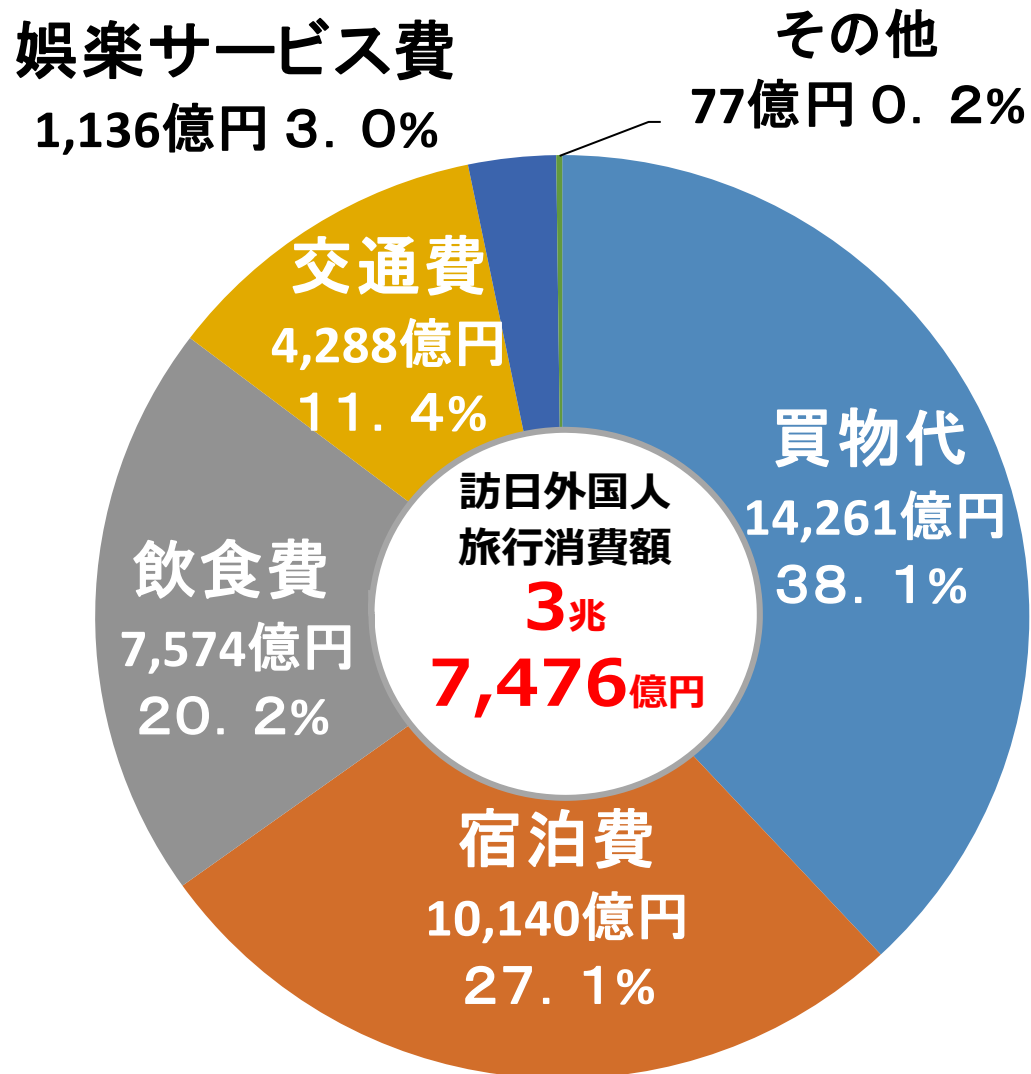
(便宜上、東京、京都、大阪、兵庫、千葉、山梨、静岡、愛知、奈良の9都府県を「ゴールデンルート」、それ以外を「その他」と定義した場合)

年間の旅行消費額と1人当たり旅行支出の推移

- 訪日外国人旅行消費総額… **3兆7,476億円（前年比7.8%増）**
 - 訪日外国人の旅行支出額… **15万5,896円/人**
- 定住人口1人分の年間消費 ≒ 訪日外国人8人分の消費**



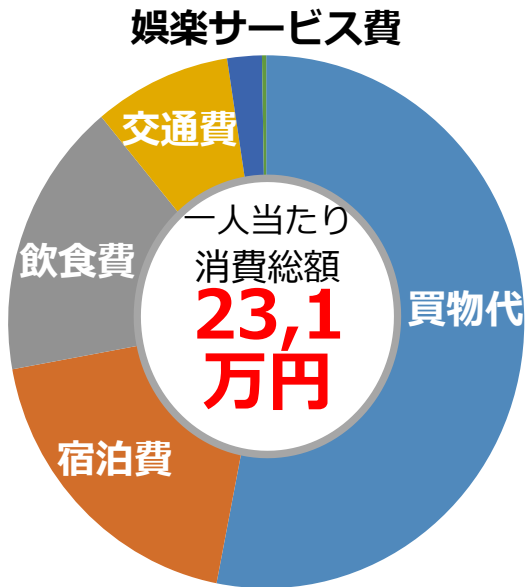
旅行消費額の費目別構成比(2016年)



- ① 買物代 38.1%
- ② 宿泊費 27.1%
- ③ 飲食費 20.2%
- ④ 交通費 11.4%
- ⑤ 娯楽サービス費 3.0%

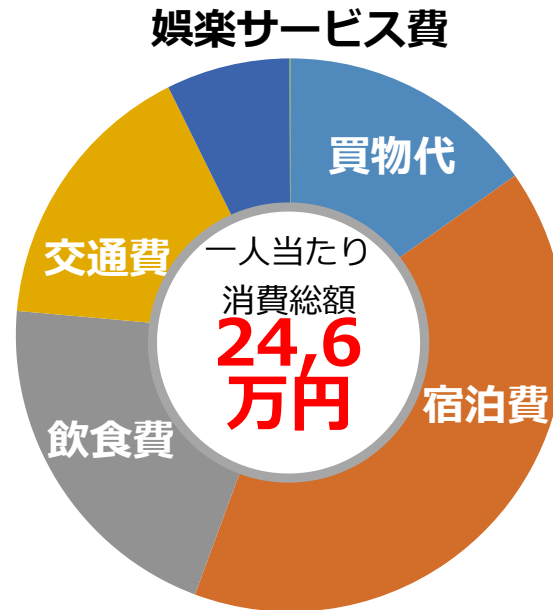
※出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」H28年間確報値

訪日外国人の旅行消費特性（費目別旅行支出2016年）



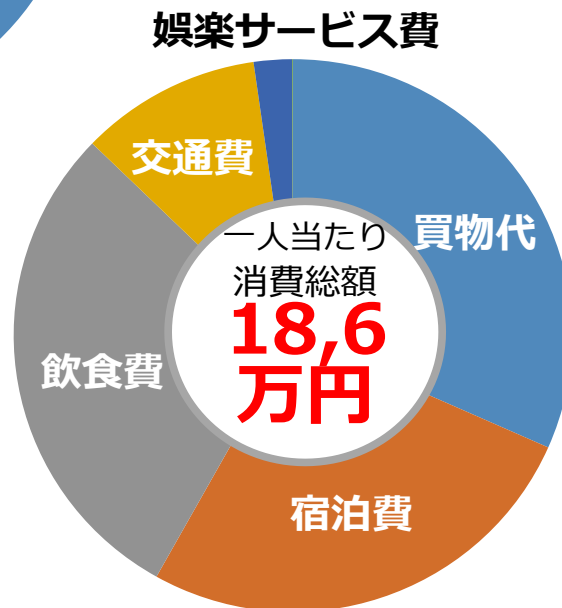
中国

- 1 買物代 53%
- 2 宿泊費 19%
- 3 飲食費 17%
- 4 交通費 9%
- 5 娯楽サービス費 2%



オーストラリア

- 1 宿泊費 40%
- 2 飲食費 21%
- 3 交通費 16%
- 4 買物代 15%
- 5 娯楽サービス費 7%

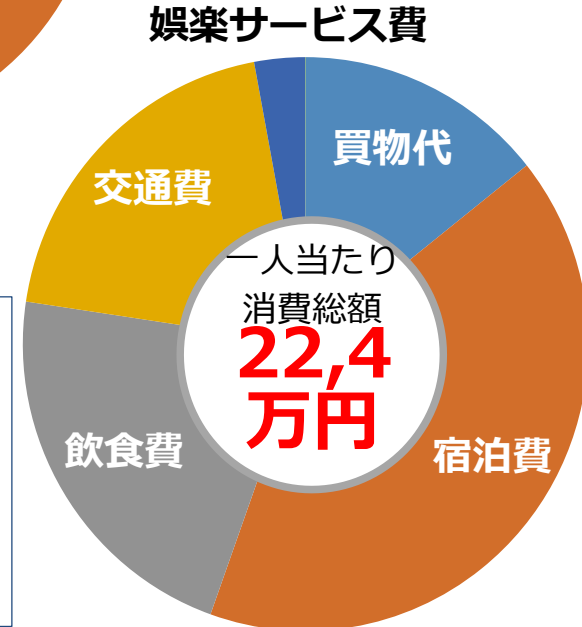


ベトナム

- 1 買物代 32%
- 2 飲食費 29%
- 3 宿泊費 26%
- 4 交通費 11%
- 5 娯楽サービス費 3%

スペイン

- 1 宿泊費 41%
- 2 飲食費 22%
- 3 交通費 20%
- 4 買物代 14%
- 5 娯楽サービス費 3%



4.地域に訪日インバウンド客を誘致するために

(参考) 訪日外国人が訪日前に期待すること

調査対象市場	訪日前に最も期待していたこと		
	1位	2位	3位
韓国	日本食	ショッピング	温泉入浴
中国	自然・景勝地観光	ショッピング	日本食
台湾	自然・景勝地観光	日本食	ショッピング
香港	日本食	自然・景勝地観光	ショッピング
タイ	日本食	ショッピング	自然・景勝地観光
シンガポール	日本食	自然・景勝地観光	ショッピング
マレーシア	日本食	自然・景勝地観光	ショッピング
英国	日本食	自然・景勝地観光	歴史・伝統文化体験
フランス	日本食	自然・景勝地観光	日本の日常生活体験
米国	日本食	自然・景勝地観光	歴史・伝統文化体験
豪州	日本食	スキー・スノーボード	歴史・伝統文化体験

出典：訪日外国人消費動向調査（2016年）暦年

(参考) 訪日外国人から寄せられた代表的な困りごと

——ショッピングに対する不満——

- ・クレジットカード決済ができる店が少ない
- ・海外クレジットカード対応のATMが少ない
- ・オンラインでの予約・決済に対応していない
- ・ショッピング含め、夜に楽しめる場所が足りない

——施設や設備に対する不満——

- ・Wi-Fiの設置が少ない、利用手続きが面倒
- ・タトゥーをしていると浴場を利用できない
- ・洋式トイレが少ない

——言語対応に対する不満——

- ・多言語対応が不足している
(WEB、案内板、飲食店のメニュー、
コインロッカー等)
- ・通訳ガイド等、インバウンド対応ができる
人材不足

——交通機関に対する不満——

- ・電車内に大きいスーツケースが置けない
- ・レールパスで私鉄に乗れない、
家族割がほしい

ご清聴ありがとうございました。